

科目番号	EA101			
科目名	林業安全衛生			
担当教員	尾崎 真也(森林大学校専任教員)			
科目区分	林業機械		人材養成の方針	即戦力 リーダー
対象学年	1年		授業形態	講義・演習
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
単位数	1			
授業時間数	8		コマ	( 16 単位時間
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容		—
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容		—
実務経験を活かした授業内容	—			

目的	安全作業の必要性を理解し、作業における安全の基本と、健康管理に必要な基礎力、基本等を身につける。		
概要	無災害の推進と安全確保の意識付けのため、労働安全衛生の心構え、緊急連絡体制構築の害事例の研究、労働安全衛生関係法令、危険生物・熱中症対策等に関して、ディスカッションを入れるなど、学生主体で学びを進める。		
キーワード	①労働安全衛生 ②災害事例研究 ③健康管理 ④危険生物、熱中症		
関連する科目	林業機械学、林業架線学、救急救命、保健体育		
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
		森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	発表50%、態度50%		

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	労働安全衛生の心構え	(1)林業労働における安全衛生とは (2)林業への就業に向けて心がけることとは (3)安全作業に向けて(ディスカッション)
3～4	災害事例研究1	(1)伐木・造材実習におけるヒヤリハットの検証 (2)伐木・造材作業における災害事例の検証 (3)伐木・造材作業に関するリスクアセスメントに向けて(ディ
5～6	災害事例研究2	(1)走行集材機械等の実習におけるヒヤリハットの検証 (2)走行集材機械等における災害事例の検証 (3)走行集材機械等に関するリスクアセスメントに向けて(ディ
7～8	健康にはたらくために	(1)危険生物、熱中症のリスクと対策 (2)睡眠不足や疲労が労働に与える影響 (3)健康にはたらくための生活習慣づくりに向けて(ディスカ

テキスト	授業時に講師から配布
参考書	
関連する資格	
備考	

地域貢献
)

姿勢、知識
の重要性、災 害形式を取り


スカッション)
---------

スカッショ
-------

クション)
-------
